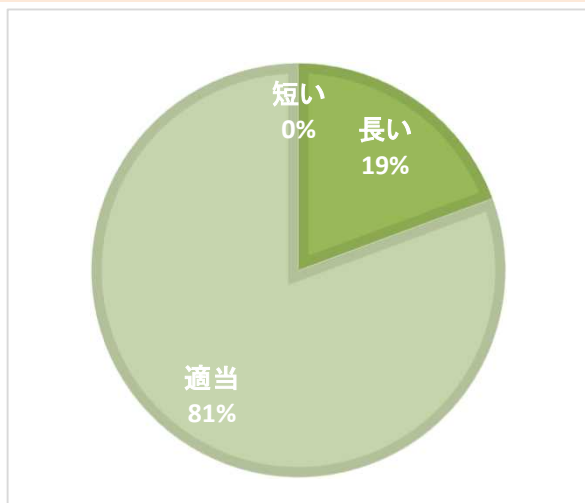


伊丹市立東中学校出前講座(R4.11.28)

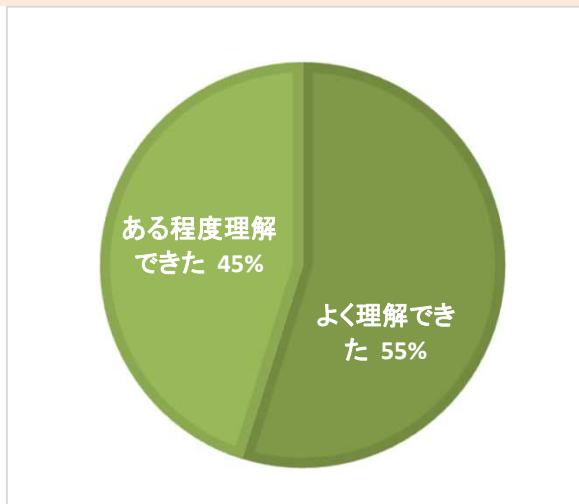
【対象】 中学生 【アンケート回収数】 31件

講座: 河川防災の話

1. 講座時間



2. 内容の理解度



3. 本日の講座において、理解出来た・関心のあった内容

■ハザードマップ

8 件

- ・ 防災の話をして聞いて、ハザードマップなどを使ってみたいと思いました。
- ・ ハザードマップの見方が分かって、良かったなと思いました。これから今日教わったような災害が起きたら対応できるようになったかなと思いました。
- ・ 自然災害の中で、特に水害について教えてもらいました。ハザードマップやタイムラインなどのものもあり、今はとても安心できました。
- ・ 防災マップをタブレットで調べてみたいと思いました。

■浸水ナビ、川の氾濫ウェブサイト

4 件

- ・ 「洪水ナビ」や「川の氾濫ウェブサイト」など、今日家に帰ったら見てみようと思いました。

■マイタイムライン

2 件

- ・ マイタイムラインを知れた。水害の備えは大切だということ。

■ジオラマ

4 件

- ・ 津波により、思ったより家などが流されること。地下は一瞬で水がたまってしまふこと。
- ・ ジオラマでの実演とか、ああいうものを見るのは好きなので、理解も深まったし、面白いと思う体験ができて良かったと思います。
- ・ 津波がきたときの町の様子が分かりやすく、とても心に残りました。
- ・ ジオラマを使った津波などの様子はとても分かりやすかった。

■内水氾濫や外水氾濫

3 件

- ・ 内水氾濫や外水氾濫について理解できた。
- ・ 内水氾濫や外水氾濫など新しく学べた単語があった。
- ・ 決壊のメカニズム。

■その他

- ・ 河川が氾濫した時のアニメーションで、人といっしょに高さが書いてあるところが、すごくわかりやすくてよかった。
- ・ 猪名川についてある程度知れた。

伊丹市立東中学校出前講座(R4.11.28)

- ・川の防災情報、決壊のメカニズム
- ・川がとても危険
- ・町が浸水する仕組みがわかった。被害を少なくするために、どんなことをしているのか知れた。
- ・どういう事が危険かなどいろいろ知ることが出来た
- ・雨の危険さ
- ・整備をしていないと危ういことが起きてしまうこと。
- ・どのような状況で災害がおきるのか。危険性のある場所。
- ・都市の地下をもっと知りたいと思った。
- ・防水の話の内容が分かりやすく理解出来ました。
- ・いつも使っている何気ない橋やトンネルも、色々な人が整備してくれているから使えるということが分かった。
- ・インフラは大事に利用しないといけない。
- ・インフラ(トンネルを作るには、色々な人が亡くなって、安全な作り方を得られたこと)
- ・町には「インフラ」がこんなにもたくさんあることを知りました。

4. 本日の講座以外で知りたい内容

- ・川の氾濫がおこった時、その水を地下へ送るものは、何でできているのか気になりました。
- ・地下のインフラについてもっと知りたいと思いました。
- ・インフラの仕方
- ・どのような整備をしているのか。
- ・川があふれた時、どこに逃げるのか。
- ・伊丹市で、災害があった時どこに行けばいいのか。
- ・自分の家が大雨になった時の様子が知りたい。
- ・どのくらい雨が降ったらやばいのか。
- ・水がない時の対応
- ・津波のこと
- ・雪が降りすぎるとどうなるのか。
- ・災害時にどんなものを準備すればいいか。
- ・今までにあった災害の被害などを、詳しく覚えておきたいなと思いました。
- ・もう少し過去の被害状況も詳しく知ってみたいなと思いました。
- ・台風による被害・災害のこわさ
- ・河川のことは知ることができたので、次は海について知りたいです。
- ・今日は河川についてだったので山についても知りたいと思いました。
- ・空からくる災害
- ・世界で起きた災害
- ・国土交通省の業務内容

5. その他自由意見

- ・普段では知れない事などを聞くことが出来て良かった
- ・今回のジオラマの実験はとても分かりやすかった。ありがとうございました。 3件
- ・とても分かりやすく、大事な内容を教えていただけて勉強になりました。ありがとうございました。 2件
- ・自分も災害に備えようと思った。
- ・タイムラインは、やってみようと思える機会になりました。
- ・分かりやすく写真や画像も見やすく良かったです。
- ・図や表などを使っていて、より理解出来た。
- ・文字が小さくて見づらい